

事後評価シート

コード 2-4-1	事務事業名 市表彰事務	所管部課 総務部秘書課
--------------	----------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的 本市の政治、教育、文化、社会その他各般にわたって市政振興に寄与し、また市民の模範と認められる行為があった者等を表彰することで、市政への貢献に対する謝意を表するとともに、より一層の市政への協力を促進する。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 市長の職にあった者等に対する功労表彰及び市の公益事業に尽力し、又は公務を助力しその功績顕著なもの等に対する一般表彰並びに市政に協力のあった者に対する感謝状の贈呈を、市表彰式で一括して行う。	根拠法令等 西東京市表彰条例 感謝状等の贈呈に関する事務取扱要領
事業開始時期	合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 表彰推薦者数	活動指標の考え方(定義) 庁内等からの表彰推薦者数
	成果指標名 1次 表彰者数	成果指標の考え方(定義) 1次 表彰審査委員会により決定した表彰者数
	1次	1次
	2次 表彰者数(受賞が2回以上)	2次 当該年度の表彰者のうち受賞が2回以上となる表彰者数

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		648	518	863	740
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		648	518	863	740
	所要人員(B)	人	0.23	0.23	0.23	0.23
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,903	1,915	1,883	1,883
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,551	2,433	2,746	2,623
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (表彰推薦者数)	千円	65	81	53	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値					
	実績値	人	39	30	52	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値					58
	実績値	人	34	30	51	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値	人	3	2	4	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	26市平均決算額 1,266千円(本市863千円) 平均表彰者数 80.7人(本市51人) 表彰者1人当たり事業費 15.7千円(本市16.9千円) 調査対象:17年度 人口千人当たり事業費 8,307円(本市4,548円)
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし

コード 2-4-1	事務事業名 市表彰事務	所管部課 総務部秘書課
--------------	----------------	----------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性	1	総合計画等に位置する事業ではないため、他市の実施状況等を参考にして適切な目的・目標の設定が必要となる。
	目標の妥当性	3	
	緊急性	4	
	1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼	
2 市が必要とする必要性	法的義務性	3	表彰対象者は限定されるが、その効果は市民に還元されるものであるため、市が主催すべき事業である。
	必要性	1	
	民間との役割分担	4	
3 内容の適切さ	ニーズ	1	他市の実施状況等を参考にして、適宜見直す必要がある。
	規模・方法の妥当性	3	
	公平性	1	
4 実施手段の適切さ	有効性	4	他市の実施状況等を参考にして、適宜見直す必要がある。庁内にも類似する表彰がある。
	効率性	2	
	独自性	3	
合計		30	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充	表彰及び感謝状の贈呈は、表彰者の市政への貢献による効果を受ける市民を代表して、市が謝意を表すものであり、本来の事業趣旨からすれば費用対効果の検証は行い難い事業である。また、他市でも同様の事業を実施していることから、廃止、休止は困難である。従って、他団体の実施状況等を適宜把握し、適切な事業運営を行うことで、事業を継続することが妥当と考える。 今後の課題として、功労表彰の見直しが挙げられる。 功労表彰は、条例に規定する市長等の特別職の退任時に表彰するものであるが、市民及び団体等を対象とする一般表彰は、市から報酬を得ている事由については表彰対象から除外する改正を行ったことから、功労表彰についても、その必要の有無を含めた検討を行い、一般表彰との整合性を図る必要があると考える。このほか、功労表彰者に贈呈される「功労章(バッジ)」は、18金を使用することから単価も高く、また、時代潮流等からも勘案し、その必要性の検討を要する。
	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	<input type="checkbox"/> 休止	
	<input type="checkbox"/> 廃止	

18年度における改善点	平成18年2月に26市の実態調査を行い、その結果を踏まえ、「感謝状等の贈呈に関する事務取扱要領」及び「一般表彰基準」の一部改正を平成18年4月1日に施行した。主たる改善点は、感謝状贈呈の区分の上限を上げたこと、教育委員会表彰及び技能功労者表彰との重複表彰を除外したこと等が挙げられる。このほか、記念品や1人当たりのコストなど運営全般において、調査結果を参考とし、18年度の事業の改善を図る。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	他市の実態調査結果を踏まえ、事務取扱要領と表彰基準の改正に取り組んだ点を評価する。所管課が総合評価で指摘しているとおり、今後は功労表彰の記念品を含めたあり方について、検討すべきである。また、産業振興課が実施している技能功労者表彰等について、事務効率化の視点から事業統合の可能性を検討するべきである。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	二次評価記載のとおり表彰基準の改正など一定の改善がなされてきているが、技能功労者表彰を実施している産業振興課所管との事業統合の可能性や記念品を含めた功労表彰のあり方も今後検討されたい。
--------	---	--